

令和3年度 学校経営方針

新宿区立市谷小学校 校長 泉崎 直之

1 めざす学校像

生き生きのびのび 一人一人の子供が光り輝く市谷小学校

- (1) 児童がいきいきと楽しく学び活動する学校
- (2) 礼節を重んじ 挨拶が響き合う学校
- (3) 思いやりを大切にする いじめのない学校
- (4) よりよい生き方をめざして工夫と改善に努める学校 (チーム市谷)
- (5) 地域に開かれ 地域と共に歩む学校

2 本校の教育目標

市谷小学校の児童としての自覚をもち、人間尊重の精神を基本とし、心身共に健康で、知性と感性、自主性と創造性に富み、勤労と責任を重んじ、環境を大切にする心と国際感覚をそなえ、社会連帯意識と国際的視野をもち、心豊かにたくましく生きる児童の育成をめざし、次の目標を定める。

- 明るく じょうぶな子ども (心と体の健康、豊かな心とたくましい体)
- よく考え やりぬく子ども (自ら考え、粘り強く努力する資質・能力)
- きまりを守り なかよくする子ども (規範意識と社会の一員としての自覚)
- すなおで 思いやりのある子ども (人権尊重の精神と共生)

3 教育目標を達成するための基本方針

- ☆「一人一人の児童の力を伸ばす個別最適化学習と協働学習の推進 (自立と協働)」
- ☆「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ☆「よりよく生きる児童の育成」(道徳授業及び全教育活動を通じて)

【育てたい4つの姿勢】

- ① あいさつ、返事、言葉遣い (礼儀・マナー)
- ② 時間・ルール守る (規範意識)
- ③ 真剣・集中 (主体的な学び、深い学び)
- ④ 思いやりと協調性 (自他の生命尊重、人権尊重、及び対話的な学び)

(1) 学力・体力の向上（思考力、判断力、表現力と、健やかな体の育成）

- ・持続可能な社会の創り手として変化を前向きに受け止め、自立的に社会の形成に参画する資質・能力の育成
- ・主体的に物事にに関わり、「真剣に取り組む姿勢」「集中してやり抜く態度」の育成
- ・よりよい生き方、よりよい方向性をめざして努力する子の育成
- ・「集中して聞く力」「わかりやすく（明快に）話す力」の育成
- ・自分の頭で考え、自分の言葉で表現することができる子の育成
- ・わかるまで、できるまで工夫し、努力する子の育成（あきらめず最後まで努力する）
- ・自ら「問い（はてな、なぜ、どうして）」をもち、追究する子の育成
- ・進んで体を動かす子、体力・健康の維持、向上に努める子の育成

(2) 心の教育の推進（人との関わり、礼儀、規範意識、感じる心を大切に）

- ・「あいさつ」「返事（「はい」）」「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子の育成
- ・相手の「目を見て話を聞く」、「言葉遣いに気を付けて話す」ことができる子の育成
- ・進んで人と関わり合い、思いやりの気持ちをもって対話や助け合いのできる子の育成
- ・節度をもち、時間・ルールを守る子の育成（規範意識、「ならぬものはならぬ！」）
- ・美しいもの、素晴らしいことに感動できる子の育成（感じる心、豊かな心を育てる）

(3) 『チーム市谷』で連携・協力（学級、学年、学校全体で工夫・改善に努める）

- ・チーム（学級、学年、学校全体）で連携・協力し、よりよい生き方や新たな目標を目指して工夫・改善し、目標達成に向けて努力する。
- ・学習や行事、様々な活動に向けて、目標をもってチャレンジする。
- ・常に仲間やまわりの人のことを考えて行動する。（思いやりと協調性）

（One for all, all for one.⇒「一人はみんなのために、みんなは一人のために」）

(4) 指導體制・危機管理体制の確立（児童の命と安全を守る体制を整える）

- ・学年、担当、学校全体での、必要情報や指導方針の共通理解と統一
- ・事故発生時、緊急時の初動対処（けがの手当て、事故の拡大防止、連絡）
- ・個人情報 の 厳正な管理（児童の個人情報の厳正・適格な取扱い）
- ・「施設・設備の管理」「指導方法・指導内容の管理」「教室の規範・秩序の管理」

(5) 保護者・地域・関係機関との連携

- ・一人一人の児童に応じた対応（支援体制、校内委員会、ケース会議の充実）
- ・保護者・地域の人材を活かした教育活動の推進
- ・保護者・地域の声や評価を活かした教育活動の推進
- ・教育活動の積極的な情報発信
- ・『チーム市谷』として、外部の人材を活用して課題の解決や改善を図る